

令和6年度 職場における OJT 促進研修 ～必要な仕事を“確実に丁寧に進める”職員集団を作る～ 実施要領（オンライン研修）

1. 目的 OJT 促進に係る研修の効果的な実施方法を学ぶ。
2. 主催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会（福島県委託）
3. 日時 令和6年9月3日（火）～4日（水）
【1日目】10時15分～16時00分
【2日目】10時20分～16時00分
4. 開催形式 オンライン研修（ツールはZoomを使用）
5. 受講対象 以下の施設の人材育成担当者・指導者層・経営者層
介護保険法に規定する介護保険施設（介護予防）、居宅サービス事業所（介護予防）、地域密着型サービス事業所、老人福祉法（昭和38年7月11日法律第133号）に規定する老人福祉施設で介護職員が義務付けられている施設・事業所。
6. 定員 80名
7. 研修内容 別紙プログラムのとおり
※全プログラム（2日間）の受講を原則とします。
8. 研修経費 無料
9. 受付期間 令和6年8月20日（火）PM5：00 まで
10. 申込手続
 - ・本会ホームページ (<https://www.fukushimakenshakyo.or.jp/>) の『研修・講座・資格』⇒『福祉従事者の研修』⇒『53 職場におけるOJT 促進研修』より申込フォーム（Google フォーム）のリンク先を開き、必要事項を入力・送信してください。または、右記QRコードより Google フォームへのリンク先を開き、入力・送信してください。
 - ・申込みの送信後、入力されたメールアドレスに受付メールが自動返信されます。受付メールが届かない場合は、事務局へご連絡ください。
 - ・受付メールは決定通知ではありません。受講対象外の方などには個別にご連絡いたします。
 - ・パソコンの不調等で受付期間内に申込みができない場合は、事務局までご連絡ください。



11. 個人情報の取扱い 申込時に入力された個人情報は、研修の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本研修会の名簿に所属・役職・氏名を掲載し、配布します。
12. 留意事項
- ・今回の研修はグループワークを行わないため、パソコン1台で複数人の受講でも可としますが、必ず受講する人数分のお申し込み、受講料納入をお願いいたします。
 - ・安定した通信環境での接続をお願いします。
 - ・マイク、ウェブカメラをご用意ください（マイク、カメラが正常に機能することを事前に確認をお願いします。）
 - ・研修資料は、受講者宛に研修開催日の1週間前を目安に送付いたします。
 - ・研修参加用の Zoom ミーティング ID/パスコードは、申込時に入力されたメールアドレス宛に研修1週間前を目安にお送りし、お知らせします。
 - ・研修の映像・音声を録画・録音等の複製行為、外部への公開や二次利用するなどの転載行為は禁止しております。
13. その他
- ・受講者変更や欠席される場合は、必ず☎024-523-1259までご連絡願います。
 - ・地震や台風、感染症の影響等により中止や延期とする場合がありますので予めご了承ください。
- なお、中止等決定は下記でお知らせしますので、ご確認ください。

《福島県社会福祉協議会ホームページ》 <http://www.fukushimakenshakyō.or.jp/>

福島県社会福祉協議会 人材研修部 福祉研修課（担当：佐藤） 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 TEL 024-523-1259 FAX 024-521-5663 E-mail kensyu@fukushimakenshakyō.or.jp
--

令和6年度 職場におけるOJT促進研修 ～ 必要な仕事を“確実に丁寧に進める”職員集団を作る～ プログラム (オンライン研修)

令和6年9月3日(火)～4日(水)

日 時	研 修 科 目	講 師	
1 日 目	10:00～10:15	受付 (10:15までにログインしてください)	
	10:15～10:20	出席確認 (カメラをONにし画面の前に着席してください)	
	10:20～10:30	開会・オリエンテーション	
	10:30～12:00	1. はじめに ～職業人が育っている職場が持っているもの～(講義) ・「職場は職業人生を豊かにするステージ」という考え方 ・「規則を守り続ける人が規範を示す」という基本が風土を作る 2. 仕事の成熟度を診ることから始まる指導と育成(講義) ・「自分の仕事」を成り立たせている4つの力 ・「腕のいい仕事人が持つ5つ目の力」を職場で後押ししていく	株式会社 エイデル研究所 人材育成支援部 主幹 丹羽 勝 氏
	12:00～13:00	(昼食休憩)	
	13:00～16:00	3. 事業所のOJT活性状況をアセスメントする(講義・演習) ・「意図のない指導・育成」という考え方はない 4. 学びの環境アセスメント(演習) ・作ったのは仕組みではなく「枠組み」だったかもしれない 5. OJT体系・研修規程の例(講義) ・「ルール(規則)があるから働きやすくなる」という考え方 6. 利用者サービスの向上へどこに力を注ぐのか(講義・演習) ・登る山を示すリーダーシップ、歩く道を示すマネジメント	
【講師紹介】 介護・福祉職場における指導職、管理職、管理者の能力開発や組織活性化に豊富な経験を有し、事業所風土に合った研修プログラムの提供を続けてきました。2020年からは「新しい学びの形」として個別職員育成プログラムの普及に力を入れています。本県ではこの研修が始まった2016年から研修講師として講師実績を持ち、多くの受講者から共感を得ています。			
主任 川崎 理代 氏			
【講師紹介】 17年に亘る現場経験として、通所リハビリ事業所等での介護業務、居宅介護支援事業所にて介護支援専門員業務、訪問介護事業所管理者や施設管理者等の施設運営管理、新規事業所の立ち上げ、研修講師等に従事してきました。現在は接遇・記録・OJT・チームマネジメント等のテーマを中心に研修講師・コンサルタントとして多くの介護・福祉施設を訪れ、現場の皆さんから信頼を得られる仕事を志しています。本研修では2020年から講師をしています。			
2 日 目	10:20～10:30	出席確認・事務連絡 (10:20までにログインしてください)	
	10:30～12:00	7. 職業人生を豊かにできる職場にしていく(講義) ・「知りたいこと」「できるようになりたいこと」を持つことの意味 ・この職場環境の中で自分の職業人生を考える職員にしていく 8. OJT体系の基礎作り①(講義) ～OJTで身につけさせたい仕事の明確化～ ・今事業所でやっていることを調える(職務基準という考え方) ・職員Aの指導育成計画作りはアセスメントから	主任 川崎 理代 氏 【講師紹介】 17年に亘る現場経験として、通所リハビリ事業所等での介護業務、居宅介護支援事業所にて介護支援専門員業務、訪問介護事業所管理者や施設管理者等の施設運営管理、新規事業所の立ち上げ、研修講師等に従事してきました。現在は接遇・記録・OJT・チームマネジメント等のテーマを中心に研修講師・コンサルタントとして多くの介護・福祉施設を訪れ、現場の皆さんから信頼を得られる仕事を志しています。本研修では2020年から講師をしています。
	12:00～13:00	(昼食休憩)	
	13:00～16:00	9. OJT体系の基礎作り②(演習・講師フィードバック) ～到達目標、効果測定の仕事作り～ ・アセスメントー目標設定ー計画作成ー効果測定の方法を考える 10. 研修体系づくり～事例とともに(講義) ・事業経営に必要な6つの活動 ・職員の定着と成長を支える保全活動としての学び 11. 仕事のアセスメント、仕事の評価から人事考課へ(講義) ～職業人生を考える職員育成～ ・指導者自身のアセスメント能力が人材育成の質を決める ・日常のアセスメントとモニタリングがなければ人事考課は成り立たない	
	16:00	閉 会	